



613-001738 Rev.A 120802

カッパースタッキングモジュール(1.0m)

## AT-StackXS/1.0 インストールガイド

このたびは、AT-StackXS/1.0をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。  
本製品は、ギガビット・インテリジェント・スタックアプスイッチ「CentreCOM x510シリーズ」のスタックポートに装着し、バーチャルシャーシスタック（VCS）機能によるスタック接続を行うためのスタッキングモジュールです。本書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。また、本製品を装着する製品本体のマニュアル、リリースノートもあわせてご覧ください。

### 1 梱包内容

最初に梱包箱の中身を確認してください。

- AT-StackXS/1.0 1個
- 製品保証書 1枚
- シリアル番号シール 2枚
- インストールガイド（本書） 1部

### 2 対応機種

本製品は、CentreCOM x510シリーズに対応しています。  
対応機種についての最新情報は、弊社ホームページにてお知らせいたします。  
本製品を装着する機器のマニュアルとあわせてご確認ください。

アライドテレシス株式会社 ホームページ  
<http://www.allied-telesis.co.jp/>

### 3 取り付け・取り外し

#### 取り付け・取り外しのときはコネクター・回路部分をさわらない

※箱中は、製品本体に電気が流れています。感電の恐れがありますので、取り付け、取り外し（ホットスワップ）を行う際は、コネクターの接点部分・回路部分にさわらないように注意して作業してください。



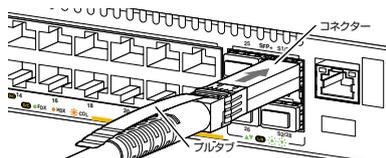
本製品はホットスワップ対応のため、取り付け・取り外しの際に、本製品を装着する製品本体の電源を切る必要はありません。  
VCS機能を有効にするためには、システムを再起動する必要があります。



本製品の取り付け・取り外しの際には、アースが施されたリストストラップを着用するなど静電気防止対策を行ってください。

**取り付け**

- 1 スイッチのスタックポートに付いているダストカバーをはずします。
- 2 本製品をスイッチのスタックポートに取り付けます。  
プルタブをスタックポートに巻き込まないように本製品のコネクタをスロットに差し込み、カチッと合まるまで押し込みます。



- 3 同様の手順で、ケーブルの反対側のコネクタを、もう1台の機器のスタックポートに接続します。

**取り外し**

- 1 本製品のコネクタ上部のプルタブを持って、スタックポートから手前に向かって引き抜きます。
- 2 同様に、ケーブルの反対側のコネクタをスタックポートから引き抜きます。

**注意** スタックポートを使用していないときは、スタックポートにダストカバーを装着してください。

**4 製品仕様**

伝送速度	10.3125Gbps	
動作電圧	DC3.3V	
環境条件	動作時温度	0～70℃
	動作時湿度	80%以下 (ただし、結露なきこと)
	保管時温度	-10～80℃
	保管時湿度	80%以下 (ただし、結露なきこと)
外形寸法	SFP 本体	According to SFP MSA
	ケーブル長	1m
質量	70g	

**5 ご注意**

本書に関する著作権などの知的財産権は、アライドテレシス株式会社（弊社）の親会社であるアライドテレシスホールディングス株式会社が所有しています。アライドテレシスホールディングス株式会社の同意を得ることなく本書の全体または一部をコピーまたは転載しないでください。

弊社は、予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがあります。弊社は、改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

©2012 アライドテレシスホールディングス株式会社

**6 廃棄方法について**

本製品を廃棄する場合は、法令・条例などに従って処理してください。詳しくは、各地方自治体へお問い合わせいただけますようお願いいたします。

**7 マニュアルバージョン**

2012年8月 Rev.A 初版